

丸沼芸術の森所蔵
アンドリュー・ワイエス展
オルソン・ハウスの物語
A Story of the Olsson House

新潟の美術館 初の展覧会



オルソン・ハウス (2009年10月撮影)

会期 2019年11月2日〈土〉
→2020年1月19日〈日〉

展覧会名	丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス展 オルソン・ハウスの物語
会場	新潟市美術館 企画展示室
会期	2019年11月2日(土)～2020年1月19日(日) 65日間
開場式	2019年11月1日(金)午後2時～
休館日	月曜日(11月4日、1月13日は開館。振替休館なし。) 年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間	午前9時30分～午後6時(観覧券の販売は午後5時30分まで)
観覧料	前売 一般 800円 当日 一般 1,000円(800円)、大学・高校生 800円(600円)、中学生以下無料 *障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料 *()内は、団体(20名以上)・リピーター割引料金 (本展観覧券の半券提示で2回目は団体料金に割引) 前売券販売所〔販売期間：8/31～11/1〕 新潟市美術館、新潟市新津美術館、新潟県立万代島美術館、 新潟県立近代美術館(9/14～)セブン-イレブン(セブンチケット)、 新潟伊勢丹、DeKKY401、インフォメーションセンターえん、 hickory03travelers、シネ・ウインド
主催	新潟市美術館、TeNYテレビ新潟、丸沼芸術の森
後援	アメリカ大使館、新潟日米協会



第34回 国民文化祭・にいがた2019、第19回 全国障害者芸術・文化祭にいがた大会 連携事業

お問合せ先 新潟市美術館〔担当：見矢野(こやの)あゆみ、松沢寿重〕
〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
TEL: 025-223-1622 FAX: 025-228-3051 E-mail: museum@city.niigata.lg.jp

展覧会概要

アンドリュー・ワイエス（1917-2009）はアメリカの国民的画家です。生まれ故郷であるペンシルヴェニア州と夏の家があるメイン州で絵画制作を行いました。それぞれの地で親交を重ねた家族たちを克明に描き続けたことで知られています。本展では、丸沼芸術の森所蔵の作品から厳選した115点を紹介します。名作《クリスティーナの世界》の習作も展示します。オルソン・ハウスは2011年に国定歴史建造物に指定されました。画家が30年間見つめ続けた、アメリカのひとつの家の物語を辿る展覧会です。

本展のみどころ

1 ワイエスの画業を代表する「オルソン・シリーズ」の貴重な作品を紹介

ワイエスの画業において、特別な位置を占める「オルソン・シリーズ」の重要な習作の数々。1939年、22歳のときに、後に妻となるベッツィに連れられて訪ねてから、その制作が始まりました。その30年間に及ぶ画業を辿ると、オルソン・ハウスそのものの描写が、クリスティーナとアルヴァロの姉弟を象徴するかのごとく深みを増していくことに気づきます。115点ものまとまったかたちでご覧頂ける大変貴重な機会です。お見逃しなく。

2 ニューヨーク近代美術館の《クリスティーナの世界》（1948年）習作、9点を展示

アメリカ美術を代表する名作の制作過程を垣間見ることができます。足の不自由なクリスティーナが、誰の助けもかりずに野原を這って我が家へと進む光景は、彼女の不屈の精神を表し、世界中の人々の心を動かしてきました。彼女の手足を美化することなく、ありのままに描くことが彼女への尊敬の証だとワイエスは語ります。「ありのまま」とは、そのプロセスを提示する素描にこそ表れるもの。その観察力の鋭さと画力の高さに、われわれは驚かされることでしょう。

3 ワイエス家と交流のある「丸沼芸術の森」の一大コレクション

埼玉県朝霞市にある「丸沼芸術の森」は、若手芸術家を支援するためのアトリエ村から始まり、芸術家の学びのために代表の須崎勝茂氏が数多くの作品を収集しています。「オルソン・シリーズ」はそのコレクションの核たるもので、総数238点。現在、これだけのワイエス作品を所蔵しているのは、ワイエス家以外では世界中でも丸沼芸術の森だけとされています。これらの作品は、ワイエスの創作のプロセスを辿ることが出来るものであり、彼の創造の秘密そのものです。

「丸沼芸術の森」についての詳細は、公式webサイトへ marunuma-artpark.co.jp

◆関連企画

1 開幕記念講演会

①「丸沼芸術の森とワイエスコレクション」

講師：須崎 勝茂 氏（丸沼芸術の森代表）

②「アンドリュー・ワイエス芸術の源泉 オルソン・ハウス」

講師：ジャニス・キャスパー 氏（史跡オルソン・ハウス 元担当学芸員）

通訳：中村 音代 氏（丸沼芸術の森 ワイエス担当学芸員）

日時：11月2日（土） ①午前11時から（60分程度） ②午後2時から（90分程度）

*会場はいずれも当館2階講堂 *申込不要、参加無料、先着100名

2 講演とギャラリートーク 「丸沼芸術の森 ワイエスコレクションの旅」

講師：中村 音代 氏（丸沼芸術の森 ワイエス担当学芸員）

日時：11月23日（土・祝） 午後2時から（90分程度）会場：当館2階講堂、企画展示室

*申込不要、要当日の企画展観覧券、先着60名

3 ワイエスを観る・知る・語る

講師：渡邊 正夫 氏（画家）

日時：12月8日（日）午後2時から（60分程度） 会場：当館2階講堂

定員：50名（応募多数の場合は抽選となります）

*要往復はがきによる事前申込（11月22日必着） *詳細は当館ウェブサイトでお知らせ。

4 ワイエスが影響を受けたロバート・フロストの詩の朗読と鑑賞

出演：TeNY テレビ新潟アナウンサー 進行：児矢野あゆみ（当館学芸員）

日時：12月15日（日） 午後2時から（60分程度）

会場：当館2階講堂 *申込不要、参加無料、先着80名

5 美術講座「オルソン・ハウスとアンドリュー・ワイエス」

日時：11月16日（土） 午後2時から（90分程度）

講師：前山 裕司（当館館長）

6 美術講座「アメリカン・リアリズム 20世紀を中心に」

日時：2020年1月11日（土） 午後2時から（90分程度）

講師：児矢野あゆみ（当館学芸員）

5、6はいずれも 会場：当館2階講堂 *申込不要、参加無料、先着100名

7 ギャラリートーク（当館学芸員による解説）

日時：11月10日（日）、12月22日（日）、2020年1月13日（月・祝）

各日午後2時から（30分程度）、会場：企画展示室 ※要当日の企画展観覧券、申込不要

◆ 広報用作品画像についてのご案内 ◆

新聞・雑誌・ウェブ媒体へ掲載を希望される際には、チラシ（表）に掲載された作品「《オルソンの家》1969年 水彩・紙」1点のみをご使用いただけます。

ご掲載を希望する方は、申込書の通信欄にその旨をご明記の上、美術館までご返信ください。詳細につきましては、美術館より作品画像の提供と記事掲載に関するご案内を差し上げます。なお、ご掲載頂ける紙面の内容によっては、展覧会ロゴマークでの掲載をお願いする場合がございますので予めご了承下さい。

【注意事項】

※事前に美術館と日本美術著作権協会での記事校正（レイアウト確認）が必要となります。時間的に余裕をみてお申込みください。

※作品画像を掲載する際には、指定のクレジットをご明示いただくことになります。

◆ 展覧会ロゴマークのご案内 ◆

本展には広報用画像として展覧会ロゴマーク2種（ヨコ・タテ）がございます。

こちらは日本美術著作権協会の確認不要。美術館でのレイアウト確認のみ必要となります。



↑ヨコ



タテ→

「丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス展 オルソン・ハウスの物語」
開場式取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書 (FAX 専用)

FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛

- ◆開場式（2019年11月1日午後2時～）の取材、記事掲載時の作品写真（画像データ）及び読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限らせて頂きます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載された媒体は、2部ご恵与ください。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
媒体名	
取材予定日	11月1日開場式・開場式以降 (月 日 時頃) ・取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映ご予定日	月 日
チケットプレゼントご希望	組 枚 *1媒体につき10組20名様まで
通信欄 (画像やロゴのご希望等)	